



しらかば北

発行責任者
井上文夫

6月
議会報告

「憲法9条の碑」 建立などを提案



船橋まさる議員の質問

私は6月議会で、次の3点について質問を致しました。

①谷津ミュージアムについて

(質問) 区域内にあるトイレは古くて臭く、かつ施設されていて使用できない。観察の小学生や散策の市民が使えるように、トイレの改修と施設の解放をお願いしたいという要望が寄せられている。

(回答) 現在のトイレは維持管理作業をする人たちの使用を前提としており、防犯上施設している。新たなトイレの予定はない。

②建築土木工事の遅れなどについて

(質問) 建設資材の遅れや値上げがおきており、人件費も上がっている。工事に遅れはないか。工事業者の熱中症対策は採られているか。また、アスベストの事前調査の報告は上がっているか。

(回答) 湖北小学校体育館など工期の遅れはない。熱中症対策としてはクーラーを導入している。

アスベスト事前調査の結果も報告されている。

③平和社会の推進について

(質問) 「平和都市宣言の我孫子市」にふさわしい取り組みとして、(1)憲法9条の碑の建立を、(2)「原爆投下日」に市民へ黙祷の呼びかけを、(3)「原爆の日」を登校日にして平和学習を行うのはどうか。

(4) 中学校の修学旅行は広島への平和学習としてはどうか。

(回答) 手賀沼公園に「平和の灯」設置してきた経緯があることから、現時点では「憲法9条の碑」の建立は考えていない。

また「原爆の日」を登校日として平和学習を行うことや、中学校の修学旅行を広島にすることについては、これまで市として広島や長崎に中学生を派遣して、現地での貴重な学びの取り組みを行っており、継続して行うことが最優先であると考えている。

(まとめ) 以上の3点について、多くの質問に市側から前向きな回答を得ることは出来ませんでした。市民の皆さんの要求実現のために引き続き粘り強く追及していきます。

我孫子市議と語るつどい (第6回)



写真の奥に参加議員が並んでいます。(敬称略)
左から芝田真代・飯塚誠・船橋まさる・深井優也・内田美恵子

これまで以上に「若い世代が参加し、発言していただくことが印象的だった。参加した市議さん5人(飯塚誠、内田美恵子、芝田真代、深井優也、船橋まさる議員)も真剣に発言していた。

そしてなにより問題提起をした「市民の声」あびこの取り組みと、スライド資料をつくった小林さんのデータが集会の質を高めたと思う。

7月5日、6回目の「我孫子市議と語るつどい」が我孫子市ショッピングセンター市民プラザホールで開かれ、46人が参加した。

テーマは「サイクルセンターの建て替え問題」。

6月議会で「サイクルセンター」の設計・建設工事、運営・維持管理業務委託についての債務負担行為(将来の年度にわたって経費の支出を約束する契約)208億6000万円が賛成18、反対4、欠席1で可決された。

208億円もの巨額プロジェクトである。「市民の声」あびこは(我孫子市現状の財政状況を考え)必要な施設だけを建て替え、建設費用を切り詰めたら?と問題提起した。

6月議会で債務負担行為が可決されたといっても、実際の建設に取りかかるまでには事業者の入札や契約締結などの課題があり、来年3月、6月の両議会での議論が必要になる。

市財政にとって大きな負担となる「サイクルセンター」建設問題に市民間での関心と議論を高めることが一段と必要になっていることを痛感した。

(竹内)

花火

6月号で記したアメリカ人形を隅田川に捨てた事情を知ったのは数年前のことです。19世紀末から

20世紀初頭、日本からブラジルやアメリカへの移民が増え、アメリカには12万人もの日本人が移民しました▼低賃金でもよく働き、日本の生活様式や文化を守っているなどが、アメリカの労働者の反感を買い排斥運動がおこり、1924年には「排日移民法」が成立しました▼親日家のギョーリック宣教師は「平和は子どもから」と人形の交流を提唱し、日本の文部省や浪沢栄一らも呼応して、1927年約1万2千体のアメリカ人形が横浜港に到着。各地の学校や幼稚園などに贈られました。どっしりした青い目の人形は幼稚園では大事にされていた。日本からは答礼人形をアメリカに送ったようです▼戦争は惨いものです。鬼畜米英と言われ人形までも憎しみの対象にされ、子どもたちの前で叩き割った例もあったようです。私たちの幼稚園の先生は、人形を川に投げましたが「海へ出てお国へ帰らない」と、叫びたかったのではないかと思います▼戦争は加害も被害も残酷です。治世者の誘導か、特定の国に対する憎しみや嫌悪感の増幅が見られる昨今、どんなことがあっても「戦争No!」です。(中島)

7月8日に、中央学院大学
生を対象に、食料支援を行
いました。第5回になります。

学院近くの久寺家近隣セン
ターで用意した食料を申し込
みのあった16人の学生たち
のべ9名のスタッフたちが配
りました。



みんなは
米、カップ
ラーメン、
スパゲティ
など喜んで
受け取って
行きました。

第5回 学生食料支援@我孫子

その中に
7人の中国
の留学生が
参加してい
ました。日
本共産党の
政策は良い
と思います。
応援してい
ます」とい
う声が寄せ
られました。

北柏に 大型商店街出現



北柏駅北口の国道6号沿いに、大型商
店街（4棟17店舗）が4月末オープンした。
スーパーマーケットベルクス（我孫子の
ベルクとは別）、100円ショップセリア
など大型店舗が目立つ。ベルクスは2階で
一階は全て駐車場である。

駅寄りの雑居ビルの2階に蔵書は全て寄
贈された本という図書館「まちライブラリー」
が在り、調べ物
は勿論、雑談ス
ペースも広く、
ゆつくり楽しめ
る場所として目
新しい。
他にスポーツ
クラブなどもあ
る。



まちライブラリー



松本守正さん
の作品（つくし野）

日本共産党我孫子市議団の
ホームページのサイトは
<https://jcp-abiko.com/>
です。

スマホのQR
コードはここ
らから。→



納涼会のお知らせ

◎7月29日（水）午後2時～ つくしの丘（しらかば北事務所）

◎会費 1000円（一部は「後援会ニュース」発行資金に充てます）

暑さを吹き飛ばし、我孫子（北地域）や国政での課題、平和や憲法問題などを語り合しましょう

寄稿 小原 紘 ①

茨 木のり子さんが亡くなってか
ら20年。今年は生誕100年
の年でもある。好きな詩人にあげる
人は多く、理由もさまざまだ。

来月99歳になる私の叔母は茨木さ
んと同様に学徒動員された。栃木県
の中島飛行機で働かされ、敗戦とと
もに仙台の両親のもとに帰ってきた
紛れもない「軍国少女」だった。
茨木さんに「わたしが一番きれい
だったとき」という詩がある。

「わたしが一番きれいだったとき
まわりの人たちがたくさん死んだ
工場 海で 名もない島で
わたしはおしゃれのきつかけを
落としてしまった」

わたしが一番きれいだったとき
だれもやさしい贈り物を捧げては
くれなかった
男たちは拳銃の礼しか知らなくて
きれいな眼差しだけを残り皆発っ
ていった

わたしが一番きれいだったとき
わたしの頭はからっぽで
わたしの心はかたくなで

叔母と茨木さんの姿が重なる。

6人兄弟姉妹の末っ子で、亡く
なるまで両親と暮らし、今日ま
で独身生活を続けた。教員、電
電公社で定年まで勤めた。

男性の補助仕事ばかりさせられ
た不満は隠さないが、囲碁や麻
雀がめっぽう強くて職場では一
目置かれていたらしい。

趣味は幅広く、茶道、華道、
謡、能の鼓を打ち、80才近く
になってピアノに挑戦した。20人
を超す甥姪にはいつまでも若い
おばさんが続けた。自分の年金
で老人施設の利用料、衣食を賄
う。

叔母が一番きれいだった時、
戦争だった。だから結婚できな
かった。だから子どもがいない
と言ったことがない。

「戦争はしてはいけない」が
彼女の口癖だが、口吻は毅然と
して迷いが無い。

職業軍人だった父親と兄より、
一兵士として中国で苦労した従
兄の生き方に感動。従兄が亡く
なってから手記を『孫たちに伝
える私の軍隊生活』として「自
費」出版して（青雲社 201
3 Y1600）親戚や友人、
図書館に配った。彼女の反戦の
意思表示だった。茨木さんの詩
からにじむ思いは叔母の気持ち
とそっくり同じだ。（続く）